

原稿校了後の前兆変化について

八ヶ岳南麓天文台 Yatsugatake South Base Observatory 山梨県北杜市大泉町谷戸8697-1 研究室 FAX 0551-38-4254
Astronomical Observatory: SINCE 1985 Earthquake Forecast Observation & Research: SINCE 1995

No.1778 長期継続特殊前兆 続報 前兆継続→11/6±可能性否定
次に考え易い早い可能性=12/21-22±等

No.1778長期継続特殊前兆の続報、現況報告です。

既に観測情報で報告済ですが、早い場合の可能性として考えておりました11/6±の可能性につきましては、10/27~28に前兆の完全終息することが条件となっており、この時期に終息しない場合、次ぎ考えやすい可能性としては、12/21±の可能性が考えやすく、若干 11/19±の可能性も否定はできない状況であることを報告致しました。

本日 10/28午後現在、右前兆出現状況図のとおり、継続出現中であります。このことから、11/6±の可能性は完全に否定されることになりました。

次ぎに可能性が考えやすい時期としましては、主な前兆の出現開始時期と極大の関係から、12/21±の可能性が示唆されます。

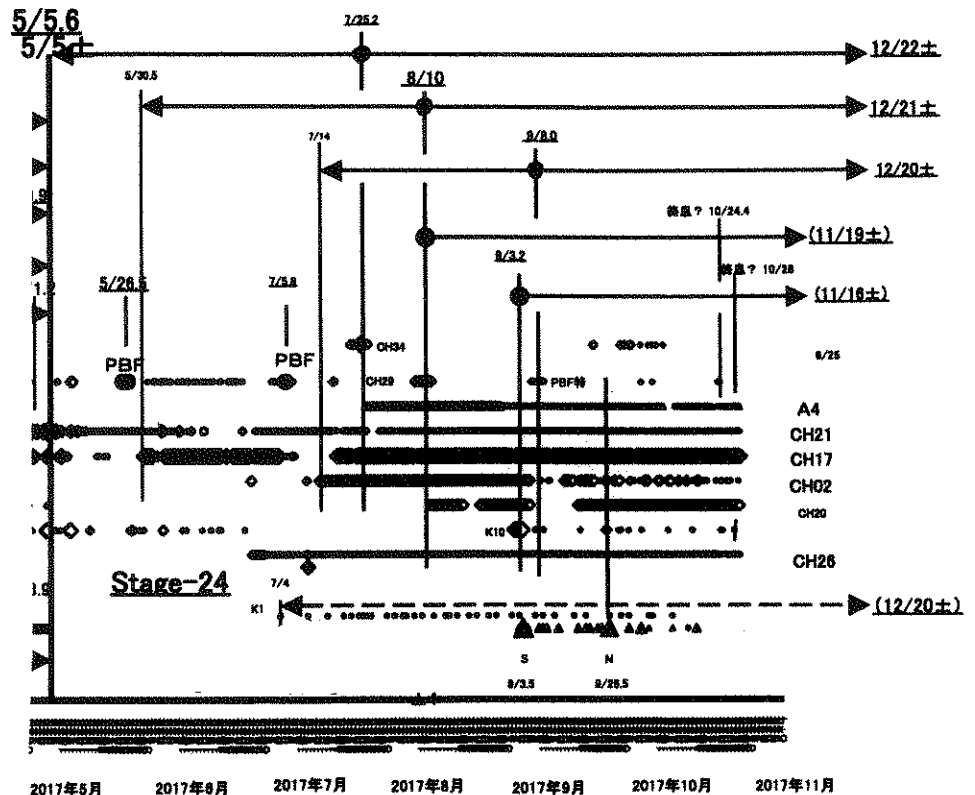
11/19±の可能性も若干否定は困難ですが、あくまでも右図中に記した2観測装置の前兆終息が確実にあった場合で、今後再出現した場合は、根拠がなくなり、11/19±を示唆する初現~極大の関係は認められませんため、考えにくいと思われま。

従いまして、現在の見解が正しい場合は、12月中旬過ぎまで、発生の可能性は否定され、安全であると言えます。

前兆終息が確認できるまで、発生時期推定は困難ですが、現状考えやすい時期を検討した結果をご報告させて頂きました。

実際の前兆終息が確認できましたら、続報でご報告させて頂きます。

No.1778前兆対応地震の推定領域、推定規模等は変更ありませんので、前情報をご参照下さい。



懸念されております「関東直下型大型地震」「南海トラフ大型地震」等の前兆は、本観測で確実に捉えられると思われ、現在は、これらの巨大地震の前兆は一切観測されておりません。仮に観測された場合は「地震前兆検知観測情報」でご報告させて頂きます。

※本HPは PHP新書読者の皆様への続報でNo.1778前兆に関するみの報告のため、他の前兆は公開しておりません。地震前兆検知公開実験へ参加頂いた皆様には情報を配信しております。

※ 12/21±の可能性については、E-mail及びFAX で日々配信しております。地震前兆検知公開実験参加の皆様宛の「地震前兆検知観測情報」では既に報告済でしたが、本HPでは報告しておりませんでした。お許し下さい。

※ 12/21±の可能性よりも早い時期に発生の可能性が示唆される前兆終息変化が観測された場合は、確認の後、HP上の続報で報告させて頂きます。No.1778前兆は過去に観測例の無い長い前兆で困惑しており、なかなか今後どう変化するのが不明点があります。お許し下さい。